

令和5年度
(2023年度)

教育実施計画書

(カリキュラム・ポリシー)

中央工学校

エンターテインメント設営科

目 次

I. 教 育 目 的	1
II. 指 導 目 標	1
III. 指 導 要 領	1
IV. 成 績 評 估 方 法 · 基 準	2
V. 教 科 構 成 表	3
VI. 教 科 別 教 育 實 施 計 畫 書	4
VII. 教 科 別 教 科 書 一 覽	36
VIII. 教 具 教 材 一 覽	37

I. 教育目的

エンターテインメント設営科の教育は、修業年限 2 年の学習期間を本校が有する建築、測量、土木、設備などの専門知識と技術を有効に活用して、人材の育成を意図する。また、イベント設営の業界では職人的人材に建設分野の専門能力やデザイン能力を有する人材が求められている。こうした背景の下、エンターテインメント設営科は規模や予算、舞台設営における意匠、電気設備、仮設足場工事等を自ら計画し、仮想空間を現実に置き換えるスペシャリストの育成を目的とする。加え二級建築士や 2 級建築施工管理技士の受験資格を得ることにより幅広い分野と専門技術を活かせる就職先を視野にいたした「実践的技術者の養成」を教育指導の根本とする。

II. 指導目標

1 年次では舞台設営の基本となる科目を設定し、図面や完成予想図に関わる表現技法や CAD 製図、基礎製図等のカリキュラムを中心に構成されている。実習科目の一つとして、本校の設備を活用した舞台造作実習では舞台美術に繋がるパネルの制作や組み立て、道具の使い方や機械の取り扱い等を実践する。また、専門科目にはイベント業務管理や設営機構概論、TV 美術概論等がある。2 年次では 1 年次で身に付けた技術を社会にアピールできるカリキュラムを設定し、特に設営実習では企業との実務研修を充実させる上で 1~2 週間単位の短期集中イベントを設定し、将来の就職先を視野に置いた授業の展開を図る。加えて、社会に出てからの道徳やマナーを学生時より身に付ける。また、舞台造作実習では立体造形や切り出しの技術を習得させ、創造力が発揮できる独自のカリキュラムで構成し実践に適應する能力を養成することを指導目標とする。

1. 学習要項で推奨する以下の各種資格を在学中に取得することでスキルを身に付ける。

推奨資格	目標合格率・取得率
足場の組立て等の業務に係る特別教育	100%
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	100%
イベント検定	100%
色彩検定 3 級	100%

III. 指導要領

エンターテインメント設営科は以下のような方針の基に教育指導に当たる。

1. エンターテインメント設営科は実習科目を中心として技術や技能を習得する。特に校外設営実習では企業と連携を図り実践的な技術を身に付ける。
2. インターンシップ制度—いわゆる企業との体験実習—を兼ねたカリキュラムを展開する。実施に当たっては社会道徳の修得、目指す業界の把握、エンターテインメント設営科の社会に対するアピール活動等に留意する。
3. 舞台設営と仮設設営に特化し、設営業界に役立つ授業の展開を図る。
4. 1 学年と 2 学年による共同作業プログラムを拡張し、公的なイベント会場の設営や展示、発表会におけるブースやステージ製作を実践する。
5. 本校における各設置科のノウハウを活用する上で、建築や設備、測量、デザインとの幅広い協力体制を維持し、建設に関わる教育の向上に努める。
6. 本科の学生は全員在学中にイベント検定の試験合格及び足場の組立て等の業務に係る特別教育修了、フルハーネス型安全帯使用作業特別教育修了を目指しており、その他にも低圧電気取扱者や玉掛け技能者等の資格を推奨している。在学中に 2 級建築施工管理技士検定（第一次検定）を受験でき合格後、2 年の実務経験で 2 級を、5 年の実務経験で 1 級建築施工管理技士の受験資格も得られる。また、卒業と同時に二級・木造建築士の受験資格を取得することが出来るが登録要件として実務 1 年が必要となる。指導に当たってはこのことを十分認識した上で、受験本位の教育に陥

ることなく、建築に関する基本的な技術能力と応用力の育成に努める。

IV. 成績評価方法・基準

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。また、卒業制作や進級課題では、校長の承認を得て総合的に評価を行っている。100点満点における60点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率85%未満の生徒については、その成績評価の対象としない。

IV. 教科構成表

教科区分	教科目	第1学年		第2学年		授業時数 合計	実務家教員 担当教科	
		前期	後期	前期	後期			
必修科目	一般科目	合宿研修	(36)		(36)		(72)	
		PC情報処理		1			15	
	専門科目	基礎力学	1	1			30	
		空間・住居論	1				15	
		室内様式史	1				15	
		一般構造	1				15	
		イベント業務管理	2				30	
		インテリア計画	3				45	
		建築材料	2	2			60	
		美術・デザイン概論		1			15	
		家具様式		1			15	
		建築法規		1			15	
		設営機構概論		2			30	
		環境・設備				1	15	
		建築施工				3	45	
		ステージメカトロニクス				2	30	
	CAD演習				2	30		
	照明・音響デザイン計画				2	30		
	実習科目	基礎製図	3	3	3		135	○
		レンダリング	3	3			90	○
CAD製図		3	3			90	○	
舞台造作実習		6	6	6		270	○	
舞台美術デザイン		2		3		75		
TV美術デザイン		2		3		75		
仮設安全管理			5			75		
測量実習			1			15		
コンサートステージデザイン					5	75		
卒業制作					18	270		
校外実習	校外設営実習				12	180		
特別研修	国内研修（インテリア）	《36》		《36》		《72》		
	海外研修（インテリア）	《72》		《72》		《144》		
週授業時間		30	30	30	30	120		
週数		15	15	15	15	60週		
年間（30週）授業時数		900 (36)		900 (36)		1800 (72)		

※ 《 》は任意選択。

V. 教科別教育実施計画書

一般科目	講義	PC 情報処理	1 学年	後期
目的・目標（指標）		目的：コンピュータの歴史、構造及び計算システムを学習させ、その基礎や利用方法を理解する。 後期目標：今後の図面及び計算書作成、及び、プレゼンテーションツールとしてコンピュータを十分に活用できるよう学生個々のレベルアップに配慮する。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	PC について		PC の概要	
2	基本操作		PC の基本操作・設定方法	
3	ワープロソフト		機能と歴史	
4	ワープロソフト		タイピング練習	
5	ワープロソフト		文書の作成	
6	表計算ソフト		基本操作	
7	表計算ソフト		表作成・表計算	
8	表計算ソフト		並べ替え・データ抽出・グラフ化	
9	プレゼンテーションソフト		機能と歴史	
10	プレゼンテーションソフト		基本操作	
11	プレゼンテーションソフト		効果的な見せ方	
12	演習		工程表	
13	演習		工事積算	
14	演習		プレゼンテーション用スライド作成	
15	まとめ			

専門科目	講義	基礎力学	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		<p>目的：構造力学の基礎である構築物における力の流れと解析方法を理解し、数値として把握できるようになる。</p> <p>前期目標：単純な静定構造物の力の流れと部材に生じる力を理解して数値を算定できるようになる。</p> <p>後期目標：前期に引き続き静定構造物(梁、ラーメン、トラス)の内力計算をし、部材断面に生じる応力度、座屈、ひずみまでの解析方法を理解し算出できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (1 時限)				
週	教程	教程内容		
1	力学とは	表現、符号、力の効果		
2	力のモーメント	モーメントの求め方		
3	合力	一点に作用する力の合力、平行に並ぶ力の合力		
4	合力	バリニオンの定理、分布荷重の合力		
5	力の釣り合い	水平方向の力、鉛直方向の力、曲げモーメント		
6	力の釣り合い	釣り合い条件式		
7	反力	力学モデル、構造部の支え方		
8	反力	単純梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)		
9	反力	片持ち梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)		
10	反力	張出梁の反力(集中荷重、モーメント荷重、分布荷重)		
11	反力	ラーメンの反力(水平方向、鉛直方向の力)		
12	部材に生じる力	力の解説、曲げモーメント図、単純梁		
13	部材に生じる力	片持ち梁		
14	部材に生じる力	せん断力図		
15	まとめ			
後 期 (1 時限)				
週	教程	教程内容		
1	静定構造物の応用	単純梁の応用、片持ち梁の応用		
2	静定構造物の応用	静定ラーメンの応用		
3	断面形が持つ構造的な性能	図心、断面 1 次モーメント		
4	断面形が持つ構造的な性能	断面 2 次モーメント、断面係数		
5	応力とひずみ	ひずみ度曲線、フックの法則、ヤング係数		
6	応力とひずみ	ポアソン比、せん断ひずみ度、許容応力度		
7	静定トラスに生じる力	節点法、図解法、切断法		
8	応力と応力度	軸応力度、ふち応力度せん断応力度、曲げ応力度		
9	応力と応力度	曲げ応力度		
10	座屈	座屈荷重		
11	座屈	断面二次モーメント、座屈長さ		
12	たわみ	たわみ角の計算式、たわみの求め方		
13	不静定構造物	基礎的解法、剛度		
14	不静定構造物	弾性と塑性		
15	まとめ			

専門科目	講義	空間・住居論	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：空間・意匠を形成過程の中で捉え歴史から導かれる思想と概念また常識物を知り現在の空間デザインに取り込み生活空間のセンスをより一層養う。</p> <p>前期目標：歴史から導かれる思想と概念を読み解き、空間・意匠を形成する過程を理解し、演習において空間デザインできるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (1 時限)				
週	教程		教程内容	
1	住まうとは(空間と時間)		ガイダンス	
2	古代住居と空間		竪穴式	
3	古代住居と空間		高床式	
4	古代～中世		都城と宮殿～寝殿造	
5	古代～中世		寺院～神社	
6	中世～近世		寺院～神社	
7	中世～近世		武家文化・寝殿造り～書院造り	
8	中世～近世		城郭～民家～長屋文化	
9	近世～昭和初期		古代～近世までの住空間	
10	近世～昭和初期		書院造～茶室～数奇屋	
11	昭和後期		寺院～神社	
12	昭和後期		戸建て空間とアパートメント・建築家による住居	
13	近代の日本の建築と空間		建築家による建築(1)	
14	近代の日本の建築と空間		建築家による建築(2)	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

	講義	室内様式史	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目的：美術とデザインの歴史や様々な実例の理解を通して、インテリアデザインの役割と可能性を考察し、今後のデザイン活動の一助となる。</p> <p>前期目標：事例から特徴や成り立ちを読み解き、時代・社会背景との関連のなかでデザインを理解して、デザイン・造形を幅広い視野から考えることができる。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (1 時限)				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		ガイダンス	
2	西洋と東洋		歴史・文化の違い	
3	原始美術		古代	
4	西洋の源流		ギリシャ、ローマ	
5	西洋史		中世の美術(ビザンチン、ロマネスク、ゴシック)	
6	西洋史		西洋と東洋の交流・ルネサンスの美術	
7	西洋史		バロック様式～ロココ様式～ビクトリア様式	
8	西洋史		西欧工芸の歴史 ウィリアム・モリスと伝統工芸	
9	西洋近代史		アールヌーボー 19 世紀末から 20 世紀初頭の時代背景	
10	西洋近代史		アールデコ 20 世紀初頭の時代背景	
11	日本様式史		古代(先史時代)	
12	日本様式史		中世(鎌倉時代、室町時代)	
13	日本様式史		近世(安土・桃山時代)	
14	日本様式史		近代(明治時代、大正時代、昭和時代)	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	一般構造	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：建物の主要構造を理解して、おさまり詳細と構造を考え設計製図の自由設計に結びつけられるようになる。</p> <p>前期目標：建物の各種構造、各部の名称、各種構造の長所及び短所を理解し、設計に結びつけられるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（1 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ガイダンス 構造理論		建物にはたらく力 応力と反力	
2	構造概論		各種構造の特徴	
3	木構造と主要構造		木造在来工法、主要構造部(基礎)	
4	主要構造		主要構造部(柱、壁)	
5	主要構造		主要構造部(床・屋根)	
6	その他の木質構造と各部の構造		枠組壁工法、金物、各部構造	
7	S 構造の基礎		鉄鋼造の特徴と各構造(ラーメン構造、トラス造、アーチ造)	
8	主要構造		主要構造部(基礎・柱・梁)	
9	RC 構造の基礎と各部の構造		コンクリート造の特徴と各構造(ラーメン構造、壁式コンクリート構造)	
10	主要構造		主要構造部(基礎)	
11	主要構造		主要構造部(柱・梁)	
12	主要構造		主要構造部(床)	
13	主要構造		主要構造部(屋上)	
14	その他の構造		組積造、レンガ造、膜構造	
15	まとめ			
後 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	イベント業務管理	1 学年	前期
目的・目標（指標）	<p>目的：イベントの基礎を中心に企画・計画段階から実施・運営段階までの流れ及び幅広い知識を習得、理解する。</p> <p>前期目標：イベント検定において、100%合格を目指す。</p>			
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	授業の目的と方針	イベントとは		
2	イベントの概念と全体像	イベントのあれこれ		
3	イベントの概念と全体像	イベントの概念・分類・歴史		
4	イベントの概念と全体像	メディアとしてのイベント		
5	イベントの企画と計画	イベントの企画		
6	イベントの企画と計画	イベントの計画		
7	イベントの企画と計画	イベントの企画書とプレゼンテーション		
8	イベントの政策推進	イベントの政策推進と管理		
9	イベントの政策推進	イベントの会場制作		
10	イベントの政策推進	イベントのプログラムと告知・集客		
11	イベントの運営とマネジメント	イベント運営の全体像と運営業務のポイント		
12	イベントの運営とマネジメント	リスクマネジメントとこれからのイベントマネジメント		
13	イベントの運営とマネジメント	ユニバーサルイベント		
14	イベント検定とは	イベント検定について		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	インテリア計画	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：インテリアを計画する上で必要な基礎知識並びに住空間について習得させる。</p> <p>前期目標：インテリアエレメント・演習計画について習得し、より良いインテリア空間を計画できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	インテリアの基本		知覚（五感）と空間	
2	インテリアの基本		造形と視覚/錯覚	
3	インテリアの基本		色彩の基本(1)	
4	インテリアの基本		色彩の基本(2)	
5	インテリアの基本		人間工学一寸法計画	
6	インテリアの基本		身長を基準とした高さ等の目安	
7	インテリアの基本		いす	
8	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン	
9	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		玄関・廊下・階段	
10	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		居間	
11	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		食事室・キッチン	
12	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		寝室・子供室他	
13	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		和室	
14	各室計画/バリアフリー&ユニバーサルデザイン		エレメント・細部計画	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建築材料	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		<p>目的：材料の種類や特性を理解し、適した素材選定が出来るようになる。</p> <p>前期目標：建物を構成する為の外装材、内装材の種類、性質、施工法を理解する。</p> <p>後期目標：前期に習得した知識を基に具体的施工方法や使用用途について学習する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	建築と舞台美術		舞台美術の概要、建築の表現方法、建築材料と舞台美術材料	
2	建築と材料		建築材料の分類、日本建築の歴史と材料、木材と日本建築	
3	木材		木材の構造と種類、用途と性質	
4	木造建築		構造と外装材、内装材と生活環境	
5	間取りと方位		玄関、水場、縁側、築庭	
6	合板		合板、集成材、繊維板、化粧合板	
7	石材		石材の特徴と加工	
8	コンクリート(1)		セメントとコンクリート、コンクリートの物性と骨材	
9	コンクリート(2)		調合と混和材料、施工と養生、コンクリート製品	
10	建具		建具の種類と特徴	
11	床材		床材の種類と特徴	
12	金属(1)		鉄鋼の加工、鉄製品	
13	金属(2)		非鉄金属（アルミニウム・銅・鉛・亜鉛）	
14	セラミックス・屋根材		タイル、レンガ、セメント瓦・スレート・金属板自然素材	
15	プラスチック素材		プラスチックの種類と特徴、樹脂材料、FRP	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガラス		ガラスの種類と特徴、ガラスの製造とガラス製品	
2	壁下地材(1)		石膏ボード、セメント板、繊維板	
3	壁下地材(2)		木質ボード、パーティクルボード、化粧合板	
4	断熱材		断熱材の種類	
5	内装材		内装材の種類	
6	壁紙		壁紙の種類と特徴、ふすま紙、障子紙	
7	障子・ふすま		障子・ふすまの種類と用途	
8	カーテン・ブラインド		カーテン、ブラインドの機能と用途、種類	
9	天井材(1)		天井の機能と種類	
10	天井材(2)		天井の下地材と仕上げ材	
11	フローリング・畳・カーペット		フローリングの種類と施工方法	
12	畳・カーペット		タタンの種類と敷き方、カーペットの施工	
13	外壁材		外壁材の種類	
14	左官		左官の歴史、モルタル塗り、プラスター塗り、漆喰壁、土壁	
15	まとめ			

専門科目	講義	美術・デザイン概論	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：美術とデザインの歴史や様々な実例の理解を通して、デザインの役割と可能性を考察する。意欲的な制作活動への意識作りに繋げることを目的とする。</p> <p>後期目標：デザインの歴史を事例から学び、特徴や成り立ちを読み解き、デザインの役割と可能性を理解し、制作活動へつなげることができる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	日本デザインの歴史		日本史	
2	日本デザインの歴史		日本近代史	
3	西欧デザインの歴史		西洋史(1)	
4	西欧デザインの歴史		西洋史(2)	
5	デザイン史		西洋近代史 新材料を用いた構造物	
6	デザイン史		西洋近代史 ウィリアム・モリスと伝統工芸	
7	デザイン史		西洋近代史 アールデコ	
8	デザイン史		西洋近代史 アメリカ建築の近代化セッション	
9	デザイン史		西洋近代史 セッション・鉄筋コンクリート造	
10	デザイン史		西洋近代史 ドイツ工作連盟・近代建築運動	
11	デザイン史		西洋近代史 アールデコとスカイスクレーパー	
12	デザイン史		西洋近代史 モダニズム建築の完成	
13	デザイン史		西洋近代史 戦後のデザイン・ポストモダニズム	
14	美術史／工芸史		美術家、工芸家	
15	まとめ			

専門科目	講義	家具様式	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：家具の全般的知識と歴史的様式デザインを理解させ、家具の設計演習を行うことにより、家具のそれぞれ備えている機能等についての意義を習得させる。</p> <p>後期目標：家具の種類、構造、材料について理解し、家具全般の知識を習得することで、家具を計画できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	家具の歴史		古代から中世における家具の推移及び特徴	
2	家具の歴史		中世から近代における家具の推移及び特徴	
3	家具の歴史		近代から現代における家具の推移及び特徴	
4	家具の歴史		現代の家具の特徴	
5	人間工学		家具における人体寸法	
6	家具のレイアウトと視線		家具配置と人間の動作範囲と視線	
7	家具の名称		家具の種類(椅子、テーブル、箱物)	
8	家具の名称		住宅・寝室・オフィスにおける家具	
9	家具構造		椅子の構造と名称	
10	家具構造		デスク、テーブルの構造	
11	家具材料		木材材料の種類と性質、加工方法	
12	家具金物		家具金物の用途と種類	
13	家具の仕上		塗装、メッキ	
14	消費者関連法規		表示マーク	
15	まとめ			

専門科目	講義	建築法規	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：建築・インテリアに関わる基本的な法規と内装に関わる構法についてを理解させ、設計やデザインに対する運用力を養い、その応用力を今後のデザイン活動に活用できるようになる。</p> <p>後期目標：建築・インテリアの内外装にかかる基本的な法規を理解できるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	建築基準法		単体規定、集団規定について	
2	用語の定義		特殊建築物、居室、主要構造部耐火、準耐火構造、耐火、準耐火建築物、代位規模修繕 等	
3	都市計画区域内の制限		用途地域、確認申請、開発許可申請	
4	形態の制限規定		建築面積、床面積、容積率 建蔽率	
5	環境衛生の規定		居室採光、換気、天井高、湿気	
6	地下室、地階		地下の定義、容積率の緩和、防湿の措置	
7	避難施設		階段及び手すり	
8	内装制限		準不燃材料と不燃材料、制限を受ける範囲	
9	換気設備		シックハウス対策	
10	消防法		概要、インテリア関係の規定	
11	消防用設備		排煙設備、非常用進入口、防災警報器、設備の位置構造	
12	住宅の品質確保の促進に関する法律(品確法)		概要、瑕疵保証制度、住宅性能表示	
13	建物の区分所有に関する法律(区分所有法)		概要、マンションの専有部分、共有部分	
14	バリアフリー法		基準概要、建築設計上の留意点	
15	その他法令		品質表示、リサイクル法	

専門科目	講義	設営機構概論	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：スタジオセットから野外コンサートなど会場設営、解体するにあたっての舞台計画及び仮設機材を含む概論を学ぶ。</p> <p>後期目標：仮設ステージで使用する機材や吊り物機構の構造、仕組みを理解し、設営工程表の作成が出来るようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		エンターテインメントとは	
2	イベントの歴史		オリンピック、パラリンピック等	
3	クライアントの望みを具現化するには		ミーティングから図面、製作、施工	
4	コンサートの歴史と変化		ドーム・アリーナでのコンサート、欧米からの部材導入	
5	仮設とは		仮設設備について(床、天井)	
6	設営用機材		足場機材とトラス材	
7	設営用機材		ホイスト・昇降機 等 設計と管理	
8	建築士とエンタメ		イベント業界での建築士の役割、確認申請	
9	リギング		リギング概論 リギングとは 会場別によるリギング	
10	リギング		リギングに使用する機材、道具	
11	ステージデザインとは		ステージデザイナーの仕事と役割	
12	コンサートの映像機器		映像機器の変遷、LED ビジョン	
13	ディスプレイ、展示会		展示会における作業、業務の流れや手法	
14	舞台機構		舞台機構とは 常設舞台の機構 仮設舞台の機構	
15	見学		千葉スタジオ見学	

実習科目	実習	基礎製図	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）	<p>目的：JIS 規格製図法に則して記号やルールを習得し、設計できるようになる。</p> <p>前期目標：図面トレースを通じ、各種図面の役割と製図法を理解し、JIS 規格製図法に則した各種図面を描けるようになる。</p> <p>後期目標：前期の基礎学力を生かし自由設計を通して、計画や図書作成の方法を学び建築、インテリアに必要なプレゼンテーションテクニックと空間構成を習得する。</p>			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている。※前期のみ実務家教員による授業			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	製図の基本	製図道具の説明・線の練習(1)		
2	製図の基本	線の練習(2)		
3	製図の基本写図	図面記号		
4	製図の基本写図	家具三面図		
5	製図の基本写図	平面図(1)		
6	製図の基本写図	平面図(2)		
7	製図の基本写図	立面図		
8	製図の基本写図	断面図		
9	製図の基本写図	展開図		
10	製図の基本写図	天井伏図		
11	製図の基本写図	矩計図(1)		
12	製図の基本写図	矩計図(2)		
13	製図の基本写図	1 階小屋伏 2 階床伏図(1)		
14	製図の基本写図	1 階小屋伏 2 階床伏図(2)		
15	まとめ			
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	課題説明・与条件整理		
2	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	配置図・平面図（1）		
3	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面図（2）		
4	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面図（3）		
5	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（1）		
6	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（2）		
7	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	立面図・断面図（3）		
8	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（1）		
9	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（2）		
10	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	平面詳細図（3）		
11	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	パース・エレメント計画（1）		
12	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	パース・エレメント計画（2）		
13	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	詳細図作成（1）		
14	木造 2 階建て住宅設計（自由設計）	詳細図作成（2）		
15	まとめ			

実習科目	実習	レンダリング	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：空間構成や形態、色、質感、デザインを表現するために透視図法、多種の着彩技法を学び、インテリアデザインのイメージや、自己の作品を第3者へ視覚伝達する能力を養い表現できるようになる。</p> <p>前期目標：各種透視図法と表現技法を理解し、適宜に図法を選択し描けるようになる。</p> <p>後期目標：前期の各種透視図法と表現技法理解した上で多種の着彩技法を学び、適宜に着彩方法を選択し表現をできるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>工務店・設計事務所を中心に公共施設や住宅の手書きによるパース制作を手掛けている。</p> <p>※後期のみ実務家教員による授業</p>			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	使用用具の理解		
2	透視図概論	投影法、透視図法用語及び概論の理解		
3	平行透視足線法	立体物パース演習		
4	平行透視足線法	外観パース演習		
5	平行透視足線法	内観パース演習(1)		
6	平行透視足線法	内観パース演習(2)		
7	成角透視足線法	立体物パース演習		
8	成角透視足線法	外観パース演習		
9	成角透視足線法	内観パース演習(1)		
10	成角透視足線法	内観パース演習(2)		
11	成角透視足線法	内観パース演習(3)トレースアップ・コーディネート演習		
12	グリッド法	内観パース演習(1)		
13	グリッド法	内観パース演習(2)		
14	グリッド法	内観パース演習(3)トレースアップ・コーディネート演習		
15	実技試験	平行透視、成角透視の実技試験		
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス カラーチャート作成	道具の説明・色の説明・溝引き練習		
2	水彩表現技法 演習 1	部分パース転写・着彩		
3	水彩表現技法 演習 2	部分パース転写・着彩		
4	水彩表現技法 演習 3	部分パース転写・着彩		
5	水彩表現技法 演習 4	部分パース転写・着彩		
6	水彩表現技法 演習 5	部分パース転写・着彩		
7	インテリア表現方法演習 1	インテリアパース転写		
8	インテリア表現方法演習 1	インテリアパース着彩		
9	インテリア表現方法演習 1	インテリアパース着彩		
10	インテリア表現方法演習 2	インテリアパース転写		
11	インテリア表現方法演習 2	インテリアパース着彩		
12	インテリア表現方法演習 2	インテリアパース着彩		
13	インテリア表現方法演習 3	インテリアパース転写		
14	インテリア表現方法演習 3	インテリアパース着彩		
15	インテリア表現方法演習 3	インテリアパース着彩		

実習科目	実習	CAD 製図	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようにする。 前期目標：実習を通しコンピュータの機能・基本操作を習得し、Windows、CAD の操作・図面作成方法を理解し、後期の活動につなげるものとする。 後期目標：実習を通しコンピュータの基本操作を習得し、VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	建築設計業を中心として数々の住宅設計・管理を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	PC セットアップ	概要	スタートアップ作業	
2	PC セットアップ	基礎操作	アプリケーションインストール	
3	PC セットアップ	基礎操作	プリンタ・ネットワーク設定	
4	CAD セットアップ		セットアップ作業	
5	CAD の基本操作		線分・図形・選択	
6	CAD の基本操作		ダブルライン・線種・用紙設定	
7	CAD の基本操作		トリム・延長・切り欠き・貼り合わせ	
8	CAD による作図		住宅写図 平面図(1)	
9	CAD による作図		住宅写図 平面図(2)	
10	CAD による作図		住宅写図 立面図(1)	
11	CAD による作図		住宅写図 立面図(2)	
12	CAD による作図		住宅写図 断面図(1)	
13	CAD による作図		住宅写図 断面図(2)	
14	CAD による作図		住宅写図 展開図(1)	
15	CAD による作図		住宅写図 展開図(2)	
後 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	VectorWorks の操作	応用	3D 入力説明	
2	VectorWorks の操作	応用	柱状体・回転体	
3	VectorWorks の操作	応用	多段柱状体・錘状体他	
4	VectorWorks の操作	応用	削り取り・噛合わせ・面取り・フィレット	
5	VectorWorks の操作	応用	テクスチャマッピング	
6	VectorWorks の操作	応用	レンダークメラ・レンダリング	
7	CAD による作図		木造図面(1)	
8	CAD による作図		木造図面(2)	
9	CAD による作図		S 造図面(1)	
10	CAD による作図		S 造図面(2)	
11	CAD による作図		RC 造図面(1)	
12	CAD による作図		RC 造図面(2)	
13	CAD による作図		パース(1)	
14	CAD による作図		パース(2)	
15	まとめ			

実習科目	実習	舞台造作実習	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)	<p>目的：大道具の制作、設営が出来るようになる。</p> <p>前期目標：寸法や用語など舞台で必要となる知識を理解し、ナグリ、ノコギリなど工具の使用方法を学びパネルが作れるようになる。</p> <p>後期目標：前期で習得した知識、技術を基に、日本の伝統芸能である歌舞伎でよく使用される屋台のセットを製作し設営技術までを習得する。</p>			
実務家教員の実務経験	舞台製作業を中心として数々の舞台背景や造作を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	実習にあたっての諸注意		
2	尺貫法	大道具における寸法の単位		
3	道具の種類と材料	大道具で使用する主な道具と材料について		
4	木工の基礎	ナグリ、豆カジ		
5	木工の基礎	のこぎり、尺金		
6	木工の基礎	カッター、ジグソー		
7	基本練習	釘箱製作		
8	パネル製作	3×8 尺のパネル 木工製作		
9	経師の基礎	紙の種類(茶チリ、加工紙、ロール紙、他)、糊、糊刷毛		
10	パネル製作	3×8 尺のパネル 経師		
11	絵付けの基礎	絵具の種類、筆、刷毛、エアージェット		
12	基本練習	色合わせ、地塗り、書割、		
13	パネル製作	3×8 尺のパネル 絵付け(1)		
14	パネル製作	3×8 尺のパネル 絵付け(2)		
15	設営(仕込み・建て込み)	パネルの持ち方、建て方、つなぎ方		
後 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	パネル製作(切り出しパネル)	桜、松、もみじ、立ち木 木工製作		
2	パネル製作(切り出しパネル)	桜、松、もみじ、立ち木 経師		
3	パネル製作(切り出しパネル)	桜、松、もみじ、立ち木 絵付け		
4	舞台セットの製作	木工製作(1)		
5	舞台セットの製作	木工製作(2)		
6	舞台セットの製作	木工製作(3)		
7	舞台セットの製作	木工製作(4)		
8	舞台セットの製作	経師(1)		
9	舞台セットの製作	経師(2)		
10	舞台セットの製作	絵付け(1)		
11	舞台セットの製作	絵付け(2)		
12	舞台セットの製作	絵付け(3)		
13	舞台セットの製作	絵付け(4)		
14	設営(仕込み・建て込み)撤収(バラシ)	張り出し舞台、舞台セットの建て込みとバラシ		
15	まとめ			

実習科目	実習	舞台美術デザイン	1 学年	前期
目的・目標 (指標)		<p>目 的：手描きによる舞台セットデザインが出来るようになる。</p> <p>前期目標：戯曲を読み、ステージをデザインするとともに制作、設営に必要な図面、パース、模型等第3者に伝えるツールを学ぶとともに、基礎的な舞台空間を把握する。</p>		
指 導 内 容				
前 期 (2 時限)				
週	教程		教程内容	
1	演出空間と舞台美術		舞台美術の役割	
2	劇場の構造と演出空間		舞台機構を使った演出法、照明・音響の効果	
3	劇場図面描き方		平面図 断面図	
4	劇場パースの描き方		1 消点法 グリッド法	
5	大道具図面の描き方		書抜(発注図面)	
6	舞台美術デザイン課題		戯曲からデザインへ	
7	舞台美術デザイン課題		デザインコンセプト アイディアスケッチ	
8	舞台美術デザイン課題		映像による作品考察	
9	舞台美術デザイン課題		平面図(作図)	
10	舞台美術デザイン課題		断面図(作図)	
11	舞台美術デザイン課題		パース・発注図面(作図)	
12	舞台美術デザイン課題		パース・発注図面(着彩)	
13	舞台美術デザイン課題		模型製作	
14	舞台美術デザイン課題		模型製作	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	TV 美術デザイン	1 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：TV 業界の仕事を十分に理解し、TV セットデザインが出来るようになる。 前期目標：頭と手のフットワークを良くする訓練と発想から創造・表現を幅広く広げ TV 美術に必要な感性を磨き、相手に伝えるための表現力を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		自己紹介・目標・授業目的と方針	
2	TV の仕事とは		TV 業界の仕事の種類と内容	
3	番組制作と美術		番組制作の流れと TV 美術の役割	
4	TV セット		図面写図 S=1:50 S=1:100	
5	TV セット		小道具配置	
6	TV セット		プレゼンテーション	
7	TV セット		小道具配置	
8	TV セット		プレゼンテーション	
9	校外見学		TV 局、スタジオ見学	
10	TV セット解説		実例を基に TV セットが出来上がるまでの流れ	
11	創造・表現		言葉(単語)を絵にして表現する	
12	創造・表現		プレゼンテーション	
13	創造・表現		曲を聞いてイメージを絵にする	
14	創造・表現		プレゼンテーション	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	仮設安全管理	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：仮設足場の安全について理解をし、「足場の組立て等の作業に係る特別教育」「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」を全員修了する。</p> <p>後期目標：仮設設営（足場機材）における安全作業及び安全管理についての基礎知識を実習・演習を交え習得する。また、現場でも安全に作業できる知識とスキルを身に付ける。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（5 時限）				
週	教程		教程内容	
1	仮設とは		仮設機材の種類と歴史	
2	仮設足場機材の基礎		建築の足場機材とイベントの足場機材	
3	仮設現場での危険について		作業場の注意点とその対策	
4	仮設足場機材		単管足場・わく組足場・くさび緊結式足場 他	
5	特別教育		足場の組立て等の業務に係る特別教育	
6	特別教育		フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	
7	組立て実習		仮設機材を利用した設営実習（単管足場）	
8	組立て実習		仮設機材を利用した設営実習（クサビ緊結式足場）	
9	組み立て実習の振り返り		作業手順、危険のポイント等	
10	KY・KYK		危険予知・危険予知活動の方法	
11	KYT		危険予知訓練	
12	人間行動の安全対策		ヒヤリハット・現場経験（年数）の違いによる災害事例	
13	労働安全衛生マネジメントシステム		労働安全衛生法について	
14	緊急時の救護活動		人工呼吸・AED の大切さ、使用方法	
15	まとめ			

実習科目	実習	測量実習	1 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：イベントやコンサート等でも使用する最低限の測量技術を習得する。</p> <p>後期目標：測量の方法や歴史を学び、測量機材の使用方法、図面化、計算の仕方を習得し、測量技術を身に付ける。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		授業内容について	
2	測量の基準		測量の歴史 位置・高さの基準	
3	測量機器と測量方法		測量機器の機能、使用方法	
4	縮図の作成方法		地図の作成方法	
5	縮図から実面先積算		縮図における面積計算法(三斜法)	
6	平板測量と縮図及び面積		縮図作成法として平板測量の紹介	
7	平板測量実習		縮図割合を定めた縮図作成	
8	測量機の機能と操作		トータルステーション(TS) 角度の出し方、距離の測量 他	
9	面積計算		二辺と夾角から面積の計算	
10	トータルステーション(TS) 測量実習		平板測量と同場所を対象とする	
11	面積計算		測量値をもとに面積の計算	
12	テープ測量		巻尺を用いた面積測量(ヘロン式)	
13	テープ測量実習		三角形に区分し 3 辺を測定	
14	勾配測量		勾配の表現と測定方法	
15	まとめ			

専門科目	講義	環境・設備	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：建築物における熱や湿気、空気、音、光による野内環境及び公共建築に必要な知識を身につける。</p> <p>前期目標：設備計画をする際は、電気や給排水、衛生、ガス供給、空調、換気等の基礎的な知識を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（1 時限）				
週	教程		教程内容	
1	建築と室外環境		外気と建築	
2	室内気候		換気と汚染	
3	室内環境と熱		性質・断熱性・気密性	
4	室内環境と採光		遮蔽・窓	
5	室内環境と音		音の性質・騒音	
6	換気設備		種類と特徴	
7	空気調和設備		種類と特徴	
8	暖房設備		種類と特徴	
9	給水・給湯設備		種類と特徴	
10	排水設備		種類と特徴	
11	消火設備		種類と特徴	
12	人工照明設備		種類と特徴	
13	電気設備		種類と特徴	
14	室内環境		音響計画	
15	非常灯		法規と種類	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	建築施工	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目 標：建築施工における基本を習得し、施工管理を通し必要な機材及び施工図の基礎知識を学ぶ。</p> <p>前期目標：工事の流れ及び管理のポイントを理解し、施工管理技術者としての役割と業務内容を習得して、2 級施工管理技術検定試験の学科試験の合格を目指す。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	建築施工概要		工事の流れ、事前調査、各種手続き	
2	建築基準法		集団規定と単体規定	
3	施工管理		施工計画・品質管理・安全管理	
4	施工計画		工程計画・バーチャート工程表・ネットワーク工程表	
5	仮設工事・土工事		共通仮設と直接仮設、土工事、地業工事	
6	鉄筋コンクリート工事①		鉄筋工事、型枠工事	
7	鉄筋コンクリート工事②		コンクリート工事、各種検査	
8	鉄骨工事		工場制作と現場作業	
9	木工事		木材の特徴、木造在来軸組工法	
10	屋根・防水工事		屋根工事、メンブレン防水・シーリング工事	
11	建具工事		鋼製建具工事、木製建具工事、ガラス工事	
12	仕上工事①		左官工事、タイル工事	
13	仕上工事②		塗装工事、内装工事	
14	設備工事		電気設備工事、給排水設備工事	
15	まとめ			
後 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	ステージメカトロニクス	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目 的：舞台における迫り、スライディングステージ、盆、バトンなど、舞台機構の構造や仕組みを学ぶ。</p> <p>前期目標：舞台機構における構造の種類や特性、メリット・デメリットを理解し、常設機構と仮設機構の違いを学ぶ。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		授業の目的と方針	
2	日本の芸能文化と劇場		劇場の歴史、劇場の形態と舞台機構の構成	
3	劇場の特性		上演機能とシステム管理	
4	舞台機構		舞台機構設備とその運用	
5	機構(吊物)		バトンの種類と原理 駆動方式の種類と積載量	
6	機構(吊物)		吊物装置の基本構成、機械式、手動式	
7	機構(吊物)		幕の種類と運用	
8	機構(床)		昇降類(迫り) 切り穴、傾斜床 等	
9	機構(床)		走行類(スライディングステージ)、回転類(盆)	
10	その他の機構		照明ラダー、ポータル 音響反射板(併設格納と仮設組立て)	
11	機構操作と制御		ボタン操作、メモリー操作とマニュアル操作	
12	安全管理と劇場技術関連基準		作業現場での安全管理	
13	劇場技術管理		劇場技術者の業務、危機管理及び安全指針	
14	劇場技術管理		舞台設備の運用と維持管理	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	CAD 演習	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：VectorWorks の操作・図面作成方法を理解して製図ができるようにする。</p> <p>前期目標：1 年次の VectorWorks の操作・図面作成方法の基礎を活用し、自ら計画や図書作成ができるようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	PC セットアップ 基礎操作		アプリケーションインストール	
2	課題内容の説明		課題詳細説明	
3	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 平面図(1)	
4	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 平面図(2)	
5	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 立面図(1)	
6	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 立面図(2)	
7	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 断面図(1)	
8	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 断面図(2)	
9	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 展開図(1)	
10	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 展開図(2)	
11	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 3D パース(1)	
12	VectorWorks による作図		自由設計 住宅 3D パース(2)	
13	VectorWorks による作図		プレゼンボード(1)	
14	VectorWorks による作図		プレゼンボード(2)	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

専門科目	講義	照明・音響デザイン計画	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目 的：演出空間に必要な光や音について、理論や基礎知識を基に学校の施設(STEP ホール)を利用した実習を交えながら習得する。</p> <p>前期目標：照明音響の知識、機材の使用方法を講義及び実習を交え習得し、操作卓の使用及びシーン作りが出来るようになる。</p>		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	照明とは	照明の役割と定義		
2	音響とは	音響の役割と定義		
3	劇場と TV の照明	劇場照明、TV 照明の違い、歴史と機材		
4	日本と西洋の上演芸術について	舞台芸術の今と昔 照明がなかった時の照明に代わる効果		
5	ホール実習	照明設備		
6	ホール実習	照明機材		
7	光について	色の三原色と光の三原色、シュートの仕方他		
8	ホール実習	三原色、シュート		
9	ホール実習	地明り・CL		
10	電気工学	電気工学について		
11	音響工学	音響工学について		
12	ホール実習	効果明り		
13	ホール実習	立下し・ピンスポット		
14	照明工学	照明工学について		
15	ホール実習	パッチ・クロスフェード		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	基礎製図	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：JIS 規格製図法に則して記号やルールを習得し、設計できるようになる。 前期目標：1 学年の基礎を生かし RC 造の自由設計を通して、計画や図書作成の方法を学び建築、インテリアに必要なプレゼンテーションテクニックと空間構成を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	RC マンションにおける設計（自由設計）		課題説明・与条件整理	
2	RC マンションにおける設計（自由設計）		配置図・平面図（1）	
3	RC マンションにおける設計（自由設計）		平面図（2）	
4	RC マンションにおける設計（自由設計）		平面図（3）	
5	RC マンションにおける設計（自由設計）		立面図・断面図（1）	
6	RC マンションにおける設計（自由設計）		立面図・断面図（2）	
7	RC マンションにおける設計（自由設計）		平面詳細図（1）	
8	RC マンションにおける設計（自由設計）		平面詳細図（2）	
9	RC マンションにおける設計（自由設計）		展開図	
10	RC マンションにおける設計（自由設計）		天井伏図	
11	RC マンションにおける設計（自由設計）		パース・エレメント計画（1）	
12	RC マンションにおける設計（自由設計）		パース・エレメント計画（2）	
13	RC マンションにおける設計（自由設計）		プレゼンボード作成（1）	
14	RC マンションにおける設計（自由設計）		プレゼンボード作成（2）	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	舞台造作実習	2 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目的：大道具の制作、設営が出来るようになる。</p> <p>前期目標：1年次に習得した技術を踏まえ、舞台における造作物の製作方法を学び、発泡スチロール等の加工製作を習得する。また、舞台空間を演出する大道具の仕掛け(振り落とし・雪かご等)を理解するとともに、基本的な舞台の台組や設営方法を習得する。</p>			
実務家教員の実務経験	舞台製作業を中心として数々の舞台背景や造作を手掛けている。			
指 導 内 容				
前 期 (6 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	実習にあたっての注意		
2	造形制作の基礎(スチロール)	発泡スチロール造形に使用する道具		
3	造形制作の基礎(スチロール)	発泡スチロールによる造形の基礎		
4	造形制作	製作(1)		
5	造形制作	製灯(2)		
6	造形制作	製作(3)		
7	造形制作	製作(4)		
8	造形制作	製作(5)		
9	造形制作	着彩(1)		
10	造形制作	着彩(2)		
11	造形制作	着彩(3)		
12	立体物の製作	階段等製作(1)		
13	立体物の製作	階段等製作(2)		
14	舞台設営の基礎	床材・台組(尺高・常足・中足・高足)		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	舞台美術デザイン	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：PCによる舞台セットデザインが出来るようになる。</p> <p>前期目的：1年次で製作した舞台セットのデザインを基に、Vectorworks・PhotoShop等PCを利用し図面、パース等を製作(データ化)し、実社会において多く活用されているCAD操作に加え表現方法を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	デジタル画像の基礎		ベクトルとラスター画像	
2	PhotoShop の基礎		インストール・初期設定	
3	PhotoShop の操作		ツールの使い方、レイヤーの分け方	
4	スキャニング		画像解像度	
5	トレース		アナログからデジタルへの変換	
6	平面図		Vectorworks を使用し作成	
7	断面図		Vectorworks を使用し作成	
8	書き抜き図		PhotoShop を使用し作成(1)	
9	劇場基本パース		基本グリッドボックスの作り方(PhotoShop)(1)	
10	劇場基本パース		基本グリッドボックスの作り方(PhotoShop)(2)	
11	パースの作成		Vectorworks の図面を PhotoShop へ取り込む方法	
12	パースの作成		変形・歪みなどのツールを利用し、パースを作成	
13	図面等修正		細部の修正 平面・断面・核抜き図	
14	図面等修正		細部の修正 パース 陰影表現 照明表現	
15	PC 表現と手描き表現の違い		PC 表現の利点と注意点	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	TV 美術デザイン	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：TV 業界の仕事を十分に理解し、TV セットデザインが出来るようになる。 前期目的：スタジオ内の使用方法、また大道具の発注方法等番組ができるまでを TV 番組の各ジャンルによるセットデザインを行いながら学ぶ。</p>		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		TV セットの考え方	
2	バラエティ番組のセットデザイン		エスキース	
3	バラエティ番組のセットデザイン		平面・正面・側面	
4	バラエティ番組のセットデザイン		発注図面等	
5	ニュース番組のセットデザイン		エスキース	
6	ニュース番組のセットデザイン		平面・正面・側面	
7	ニュース番組のセットデザイン		発注図面等	
8	音楽番組のセットデザイン		エスキース	
9	音楽番組のセットデザイン		平面・正面・側面	
10	音楽番組のセットデザイン		発注図面等	
11	ドラマのセットデザイン		エスキース	
12	ドラマのセットデザイン		平面・正面・側面	
13	ドラマのセットデザイン		発注図面等	
14	ドラマのセットデザイン		パース	
15	まとめ			
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	コンサートステージデザイン	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目的：大空間(野外・アリーナ・ドーム等)に於ける仮設ステージのプランニングを行い、空間の使い方、設計方法を習得する。</p> <p>前期目標：図面や模型製作、プレゼンテーションを通して表現方法を習得する。</p>		
指 導 内 容				
前 期（5 時限）				
週	教程	教程内容		
1	コンサートステージの概要	事例を基にコンサートの基礎的な要素と空間構成		
2	コンサートステージの概要	ドーム、劇場、野外等設営環境によるデザインの違い		
3	課題内容の説明	会場説明、デザインする上での必要事項等		
4	自由設計	アーティスト選定、エスキース、ラフスケッチ		
5	自由設計	エスキース・演出プラン		
6	自由設計	導線計画		
7	自由設計	吊り物、照明、音響計画		
8	自由設計	計画図面入力(1)		
9	自由設計	計画図面入力(2)		
10	自由設計	基礎舞台(レイヤー)仕込み図		
11	自由設計	模型作成(2)		
12	自由設計	パース作成(1)		
13	自由設計	パース作成(2)		
14	自由設計	プレゼンボード作成		
15	まとめ			
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

実習科目	実習	卒業制作	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：社会事情とイベントの将来を考え、今まで学んできた知識や技術を最大限に活かし、各自が選択した卒業制作の計画やデザインを具体的に実現可能な設営計画を留意し、様々な背景を基に問題点を提起し、提案制作する。</p> <p>後期目標：学んできたことを最大限活かし、学生らしい新たな発想を踏まえ、社会に提案できる作品制作を目指す。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（18 時限）				
週	教程		教程内容	
1	卒業制作		各自のテーマ設定、調査	
2	卒業制作		エスキース、資料収集	
3	卒業制作		図面制作(1)	
4	卒業制作		図面制作(2)	
5	卒業制作		模型製作(1)	
6	卒業制作		模型製作(2)	
7	卒業制作		パース作成(1)	
8	卒業制作		パース作成(2)	
9	卒業制作		追加図面調整(1)	
10	卒業制作		追加図面調整(2)	
11	卒業制作		提出図面の調整	
12	卒業制作		提出模型の調整	
13	卒業制作		全体調整、総合提出用作業	
14	卒業制作		プレゼンテーション用資料作成	
15	総合提出・講評会		プレゼンテーション	

実習科目	実習	校外設営実習	2 学年	後期
目的・目標（指標）		<p>目的：実務作業を体験することで卒業制作の計画やデザインを具体的に実現可能な設営計画とする。また、現場作業を通じて、基礎的社会常識を理解する。</p> <p>後期目標：校内ではできない規模の案件に触れることにより、知識・経験を積むとともに、卒業制作のアイデアや計画の具体化につなげる。</p>		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（12 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		校外設営実習の概要	
2	各企業での実務作業		各企業による	
3	各企業での実務作業		各企業による	
4	各企業での実務作業		各企業による	
5	各企業での実務作業		各企業による	
6	各企業での実務作業		各企業による	
7	各企業での実務作業		各企業による	
8	各企業での実務作業		各企業による	
9	各企業での実務作業		各企業による	
10	各企業での実務作業		各企業による	
11	各企業での実務作業		各企業による	
12	各企業での実務作業		各企業による	
13	各企業での実務作業		各企業による	
14	各企業での実務作業		各企業による	
15	報告書作成		報告書印刷、ファイリング	